

日本原子力学会標準委員会 リスク専門部会 レベル 2PRA 分科会

第 32 回会合議事要旨

日時：2019 年 9 月 10 日（火）14:00～17:30

場所：電中研大手町本部 NRRC 大会議室

出席者：

委員：阿部（主査）、成宮（副主査）、中村（幹事）、小野田、楠木、小谷、佐々木、橋本、濱崎、美原、渡邊、宇井（千年委員代理） 12 名出席、白石委員候補

（欠席）千年、中村、原口、村松、山本

常時参加者：小城、諏訪、友澤、西村、藤崎、松永、小原（長江常時参加者代理）

7 名出席

説明者：山田（電中研）

議事：（発言者敬称略）

議事に先立ち、定足数及び配布資料の確認を行った。

議題 1 前回議事録の確認

中村幹事より、資料 P10SC32-1 に基づき、前回議事録要旨（案）の概要版について説明があり、修正なく承認された。

議題 2 人事案件

中村幹事より、資料 P10SC32-2 に基づき、次のとおり説明があり、委員の選任が承認された。承認後、白石委員から自己紹介が行われた。

- ・委員の退任：佐藤 親宏
- ・委員の選任：白石 夏樹
- ・常時参加者の解除：白石 夏樹

<主な議論>

特になし。

議題 3 レベル 2PRA 標準改定状況の報告

中村幹事より、資料 P10SC32-3 に基づき、レベル 2PRA 標準改定案の公衆審査の意見対応及び誤記載の対応について、第 50 回リスク専門部会（8 月 21 日）、及び第 78 回標準委員会（9 月 4 日）にて決議され、制定となったことが報告された。また、今後の予定として転載許諾の手続きと講習会の実施を予定していることが報告された。

議題 4 津波への適用範囲の拡張の方針について

議論に先立ち、NRRCにおける津波 PRA プロジェクトの概要について、山田氏(電中研)より説明があった。概要説明は、レベル 1～2 までの一貫した津波 PRA モデルの構築状及び要素技術の開発状況が紹介された。当プロジェクトの成果は、事業者による自主的安全性向上の取り組みに加え、基準策定に活用できるという説明をエネ庁や各事業者に説明されているとのことであった。本分科会として、L2 津波 PRA 標準につなげることが出来るように情報共有を進めてほしい旨、要望を伝えた。

各箇条担当より、資料 P10SC32-4-2 に基づき、津波レベル 2PRA 標準作成の方針（今後の作業の進め方、スケジュール案）に沿った課題の抽出結果が説明された。各箇条についてそれぞれ議論し、課題を把握した。

議題 5 JCNRM/JIWG の対応について

中村幹事より、資料 P10SC32-5-1 に基づき、JCNRM での意見交換を踏まえた共通用語定義の修正に関連して、レベル 2PRA 標準への問い合わせがあったことが報告された。また、JCNRM への質問事項について、資料 P10SC32-5-2 のとおり質問を JIWG へ送付することが承認された。

議題 6 今後の進め方及び標準策定 5 ヶ年計画について

中村幹事より、資料 P10SC32-6-1, P10SC32-7 に基づき、今後のスケジュールが説明された。2020 年 2 月リスク専門部会に津波レベル 2 PRA 標準作成の方針報告を予定し、前回改定スケジュールを考慮して、2021 年 9 月に制定を目指すことが示された。また、当スケジュールを反映した標準策定 5 ヶ年計画が提示され、コメントなく了承された。

議題 7 新知見の収集及び評価資料の作成について

成宮副主査より、資料 P10SC32-6-2 に基づき、地震 PRA 標準の改定に資するアンケートの結果が紹介され、レベル 2PRA 標準について分科会参加者間のアンケートの実施が提案された。また、新知見の収集は、資料 P10SC32-4-2 の文献リスクに基づき抽出することになった。

その他

- ・分科会の最後に、2019 年度倫理教育を実施した。
- ・次回分科会は 12 月 13 日(金)13:30～となった。

以上